

# 三沢市地域公共交通会議 会議録

会議名称	平成22年度第4回会議					
開催日時	平成22年9月17日（金）午前9時30分～11時00分					
場 所	三沢市役所 本館4階 大会議室					
出席者	会 長	小渡 章好	委 員	桑嶋 豊士	委 員	高橋 武志
	委 員	坂本 幸子	委 員	宮崎 倫子	委 員	田中 和男
	委 員	中村 浩一	委 員	小笠原 和彦	委 員	小笠原義隆(代理)
	委 員	山田 和男	委 員	松島 正栄	委 員	遠藤 恵介
	委 員	鈴木 唯一	委 員	中野渡 進	ワグサバ	吉田 樹
	随 行	佐藤 美仁				
	三沢市 (事務局)	澤口政策財政部長、堀政策調整課課長補佐、出戸係長、種市主事 <千代田コンサルタント2名>				
欠 席 者	委 員	種市 博幸	委 員	池田 守	委 員	豊嶋 修
	ワグサバ	佐藤 慎二				
会議次第	1 開会 2 会長挨拶 3 議事 (協議事項) (1) コミュニティバス実証運行計画(案)について (2) 十和田観光電鉄路線バスの路線新設及び休廃止について (3) コミュニティバス実証運行に向けた広報準備について 4 閉会					
会議の経過及び審議結果(概要)						
1 開 会 2 会 長 挨 拶 小渡会長挨拶 3 議 事 協議事項(1) コミュニティバス実証運行計画(案)について<別紙資料>と、協議事項(2) 十和田観光電鉄路線バスの路線新設及び休廃止について<別紙資料>と、協議事項(3) コミュニティバス実証運行に向けた広報準備について<別紙資料>を事務局から説明し、その後に各委員からご協議をいただいた。 (下記、概要による)  <協議概要>  【協議事項(1) コミュニティバス実証運行計画(案)について】 ※事務局より説明あり(別添資料)						

(小渡会長)

全体として急激な運賃の上昇とならないように配慮してほしい。

ダイヤについても、こういう細かいところまで出来るのはスゴイと思います。

毎時何分発と合わせるのはかなり大変だったろうと思います。

(宮崎委員)

大変良く考えてやられていると思います。

(坂本委員)

バスマップもとてもカラフルで見やすく感じられるので、とても良いと思います。

(高橋委員)

市街地100円が基本で、空港で乗り継いだ場合、北浜に行く場合、そこで運賃が切り換えになるのですか。

(事務局)

乗り継ぎの場合の運賃については、今回、市街地100円という低料金を設定したので、乗り継ぎの際は乗り継ぎ割引とかは設定しないと考えております。ですから、乗り継いで北浜に向かう場合は、そこから規定の運賃を支払っていただくこととなります。

(十鉄佐藤課長)

この運賃設定につきましては、全ての停留所ごとの運賃はまだ決まっておられません。近日中に検証いたします。

(桑嶋委員)

空港の乗り継ぎの待合場所をもうちょっと考えてみてはどうかと思いました。

それと、第1期と第2期に分けて検証していくようですが、今後の手続きとか日程とかは検討されているのか。

(事務局)

鉄道に関しても3月に新幹線はやぶさ導入によるダイヤ改正が予定されており、それを踏まえたうえでのバスのダイヤ検討というのも必要であるということでございます。

その前に利用状況を調査する必要があるので、国交省の補助で調査費用も計上しております。そういったデータ収集をしながら検証して、先程の鉄道ダイヤとの整合性を再検証して、4月以降のコミュニティバスの実証運行に反映させていくというようなことを考えています。

(吉田アドバイザー)

基本的に100円運賃がなぜ設定されたということですが、私が参加している武蔵野市のムーバスという100円バスがあるのですが、武蔵野市ですら赤字で、人口密度が1万何千人といえる中でも赤字ですから、それをなぜ三沢でもやるのかがピンとこなかった。ただ一方で、考えられることとすれば、これだけ大きく路線が再編すると乗客が逃げるのではないかというのもあり、それは実際に覚悟しておかなければいけません。最初の1ヶ月は対前年比60%や70%に留まることは往々にしてあります。ですから、最初に慣れてもらう期間を考えておけばよいので、第1期の期間を慣れてもらって、その動向を見ながら第2期をどうするかを検証しなければいけないのではないかと思います。

(小渡会長)

この公共交通というものは、未来永劫という随分先になりますが、中・長期に渡って育てていくものですから、そういう意味では少し覚悟しつつ、反応についても息の長いスパンで考えて行かなければならないのではないかと。

(桑嶋委員)

これは11月に実施するということですが、市民や各団体などにPRするような前座としての試乗会のようなものは企画しておりますか。

(事務局)

試乗会については、今のところ検討はしておりません。

(小笠原委員)

実際にバスを運転していて、ダイヤの時間が同じというのは理想です。だから私は良いダイヤだと思います。利用するお客様が一つのバス停に止まる時間が一定しているとわかりやすいので、時間が同じというのはとても良いと思います。

**【協議事項（2）十和田観光電鉄路線バスの路線新設及び休廃止について】**

※十鉄運輸事業部企画室兼乗合自動車課 佐藤課長より説明あり（別添資料）

(委員からの質問等はなし)

**【協議事項（3）コミュニティバス実証運行に向けた広報準備について】**

※事務局及び千代田コンサルタント・吉田アドバイザーより説明あり（別添資料）

(田中委員)

吉田先生が仰られるようなのが、お歳を召した方とかには有効ではないかと思えます。せつかく時間を揃えて出発時間を合わせたダイヤ、というところの中で、例えば、どうしても市役所で乗り換えをしなければならないとか、そういうのを色々考えていくと、いざ乗り換えをする時に、うさぎとかめという分かりやすいところが良くなるのではないかと思えます。

(中村委員)

確かに、病院に行く方にはわかりやすいシステムかと思えますが、今ついている路線名を無くして番号にするということでしょうか。番号にすることによって路線のイメージがわかりにくくならないかと思えますが、どうなのでしょう。

(吉田アドバイザー)

私は路線名は残しておいて良いと思えます。しかし、人によって、住んでいる場所によって、バスにとっては鉄道に比べてもそうですが、路線名で印象付けるにはかなり難しいものであります。路線がたくさんあればそれだけ複雑になるので、路線名は残してもいいのですが、番号の整理をきちんとしておかないと混乱が生じてくると思えます。

(小笠原委員)

市民の皆様方に分かりやすく利便性を高めるための公共交通会議、あと市外からも来られる方

にも分かりやすくするために、この公共交通会議を進めていきたいと思いますという事で今まで話し合われて来ています。

うさぎとカメも一つの案として出されておりますが、分かりやすくとても良いと思います。三沢市民の方からして見れば、ビードル、木崎野、岡三沢線など、慣れ親しんだものを活用していくほうが、新しいものを取り入れるよりも、スタートする段階では慣れ親しんだものを活用していくほうが良いかと思います。

あと、バスを利用される方々は、身体の不自由な方や小・中・高校生が多いので、学校とかでも施設とかでも良いが、どこかで三沢の公共交通会議で新しいバス路線がスタートするんだというのを、特にバスをこれからたくさん利用していただく小・中・高の人達に是非PRして行けば、この色分けした路線、記号を用いた方向幕、スタートということを考えれば、良いスタートになっていくのではないかと思います。

(遠藤委員)

うさぎとカメは非常に良いと思います。私にはとても分かりやすいと思います。

市立病院に行くのは全てカメだということで、長生きするカメが病院へ向かうという良いイメージも湧くのではないかと、思います。

(坂本委員)

マップのラインの色分けでどの路線がどこを通ってどこまで行くのかが分かるので良いと思います。

周知については、皆さんも色々なところで、それぞれの立場で伝えていくといいと思います。

(宮崎委員)

三沢市民がバスに乗るときには、何の路線であっても構わない訳です。自分が行きたい所に通るかどうかが一番問題だと思うので、そういう意味ではうさぎとカメは、例えばカメに乗ると市立病院まで行けるとはっきり分かるというのは、非常に有効な手段だと思います。逆に言うと記号で **Ve** とか **Kz** とか **Kt** とかいうのは書いてあってもなんだっけといちいち考えるよりは、うさぎとカメで良いのではないかと思います。

この時刻表につきましても、ビードル線ならビードル線で、往復で載せるという方が見やすくなると思います。

(高橋委員)

主に病院に行く、市役所に行く、浜に行く人は浜から来て浜に帰る、という人が多いと思うんですよ。時刻表の方には、ビードル線であれば、古間木から市立病院方面というふうに書いてあるが、バス方向幕の行き先表示のところにもしばらくの間やってもらえれば良いのかなと思います。

(桑嶋委員)

アルファベット表記のところですが、外国人がバスを利用することで載せているのかどうかということと、私自身もあまりバスに乗ったことがないので、うさぎとカメのようにわかれば安心はします。

(松島委員)

基本的にこの表示は、わかりやすくというのが何をいっても原点だと思います。そのような中で、表示の仕方もいっぱい物が書いていけば見る方もいやになる。だから、いかに簡単でわかり

やすくするということがつくる人の技量にかかってくるので、頑張ってください。

(山田委員)

私はタクシーの運転手なのでバスには殆ど乗ったことはありませんが、できるだけわかりやすく表示した方が良いので、つくられる方に頑張ってほしい。

(小渡会長)

吉田アドバイザーのうさぎとカメも、千代田コンサルさんの提案されているものも、バス利用される方が、バスがどこを通過してどこに行くのかというのをわかりやすくするというのが狙いなのは同じであるので、私の中では4つのポイントである、駅・市役所・空港・病院とその行き先をわかりやすく書いておけば良いと思います。

(事務局)

これまでご協議いただいたご意見等を整理すると、まず、アルファベット自体についてはあまり有効ではないだろうということで、吉田先生がご提案いただいたうさぎとカメの方が視覚的にもわかりやすいかと思しますので、そこを少し追求してみたい。

あと、路線名のお話しでは、路線図とか示すときには必要なもので、それには残しますが、実際にバスが来た時に、路線名がバスの車体に現さなければいけないかということ、方向幕には乗せなくても行き先がわかる表示にすれば良いと思います。あとは、出来るだけ簡素でわかりやすく、視覚的にもわかりやすく整理したいと思います。

(小渡会長)

只今、皆さんのご意見を事務局が整理していただきましたが、その内容を含めて今後、事務局と十鉄さんらにお任せしたいと思いますが、委員の皆さん如何でしょうか。(全員異議なし)

以上で本日の会議を閉会いたします。

以上